

美術館評価調書

(その1)

旭川美術館

【基本的運営方針】 A 優れた作品の収集と保管

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
コレクションの活用状況	コレクションの稼働率	25.0%	12.1%	48.400%	c	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展及び常設展において、当館所蔵作品727点中、88点を展示し、展覧会内容に創意工夫を凝らしながら効果的に活用したが、展覧会によっては大型のものが多かったため、会場の都合から出品数が少なくなった。 ・道内の美術館へ2件（10点）貸出しを行い、活用が図られたところだが、今後さらに他の美術館に対して、所蔵作品の活用を図っていく必要がある。
	所蔵作品を他の美術館企画展で活用					
コレクションの充実度	収集方針に基づき、主体性を持ち積極的に収集活動を行う				b	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は受贈により、19点の作品を収集した。いずれの作品も当館の収集方針に沿ったものであり、今後とも収集方針に沿った収集ができるよう、引き続き作家・作品調査を継続する。
保管状況の適切さ	適正な保管環境を保持し、必要な調査に基づき措置を行う 計画的に所蔵作品の修復を行う				b	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵庫や展示室の温湿度等を随時調査し、管理することにより適正な保管環境を保持することが出来た。 ・適宜、所蔵作品の状態把握を行うことで、適切な管理が図られた。

【基本的運営方針】 Aの評価

評価	コメント（評価の考え方）
B	コレクションの充実、適切な保管については、一定の成果を挙げる事が出来た。コレクションの稼働については、今後もより一層所蔵作品を活用しながら、質の高い展覧会を実施する。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その2)

旭川美術館

【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
常設展示の充実度	常設展示観覧者数	12,000人	12878人	107.3%	b	・コロナ禍において、休館した期間がありながらも作品の内容を充実するなど魅力ある展覧会を実施することで、観覧者数、観覧者の満足度、リピート率ともに目標を上回ることが出来た。
	常設展示観覧者の満足度	80.0%	88.1%	110.1%		
	常設展示のリピート率	60.0%	71.8%	119.7%		
特別展示の充実度	特別展示の観覧者数	39,000人	41141人	105.5%	b	・休館や入場制限など新型コロナウイルス対策を行いながらも、展覧会の質を高レベルなものとする事で、観覧者数、観覧者の満足度、リピート率ともに目標値を超えることが出来た。 特に、「山下清」展については、観覧者数が開館以来歴代10位の記録となるなど大きな成果を挙げた。
	特別展示観覧者の満足度	80.0%	96.5%	120.6%		
	特別展示のリピート率	60.0%	69.7%	116.2%		
入館者の拡充	美術館の魅力を広め入館者増につながる取組の実施				b	・ホームページのリニューアルなど各展覧会のPRや開館スケジュールをより見やすくするなど、美術館の魅力を発信した。
展示の状況	展示のねらいが効果的に表現できているか				b	・「神田一明、日勝展」にあわせて第2展示室で「北海道の美術1950-70年代」を開催し、神田兄弟が活動したのと同時代の北海道美術を紹介。2つの展示室を鑑賞することによってより深く内容を理解できるよう配慮した。
館外展示の充実度	移動美術館入場者満足度	設定なし			b	・出張アート教室の実施により、学校で作品紹介を行うなど、館外展示の充実を図っている。 ・「神田一明、日勝展」では、アートギャラリー北海道連携館（神田日勝記念美術館）から借用し、当館の企画をもとに連携館でも同展を開催し、当館の作品も展示された。
	その他の館外展示の状況					

【基本的運営方針】 Bの評価

評価	コメント（評価の考え方）
B	新型コロナウイルス感染症の対策のため、休館や入場制限を行いながらも、展示内容の充実など魅力ある展覧会を実施することで、常設展示、特別展示ともに観覧者数、満足度、リピート率、すべての項目において目標を達成することが出来た。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その3)

旭川美術館

【基本的運営方針】 C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
教育普及事業の充実度	教育普及プログラムの実施数	70回	73回	104.3%	c	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響による、事業の中止や人数制限などにより、参加者数については目標に届かなかったが、満足度については、内容の充実を図ることで目標を達成することが出来た。今後も、コロナ禍における実施方法等を引き続き検討する必要がある。
	教育普及プログラムの参加者数	4,500人	2264人	50.3%		
	教育普及プログラムの満足度	80.0%	97.9%	122.4%		
	教育普及事業の状況					
美術情報提供の充実度	ARS、図書コーナーの利用者件数	1,000人	4481人	448.1%	b	<ul style="list-style-type: none"> 図書コーナーの利用者数、満足度、HPアクセス数は、概ね目標を達成することが出来た。 ホームページをリニューアルするなど、より活用しやすいコンテンツの充実を図った。 ソーシャルメディア（ツイッター）の投稿回数が少なく、情報発信に課題があることから、より一層積極的な情報発信に努める。
	ARS、図書コーナーの利用者満足度	80.0%	81.2%	101.5%		
	多くの来館者が利用できる図書コーナーの環境整備・保持					
	HPアクセス件数	156,000件	200821件	128.7%		
	メールマガジン等発行回数	実施なし				
	ソーシャルメディアの投稿数	170回	80回	47.1%		
	情報発信の状況					

【基本的運営方針】 Cの評価

評価	コメント（評価の考え方）
B	<p>教育普及活動について、新型コロナウイルスの影響により参加者数については目標を達成することが出来なかったものの、質の高い事業を実施することで、参加者の満足度を高めることが出来た。</p> <p>ソーシャルメディアの投稿数以外は、ホームページの改修を行うなど、美術情報提供の充実度を高めることが出来た。ソーシャルメディアの投稿については、投稿数の増はもとより、単に事業の紹介を行うだけでなく発信内容を工夫し、利用者のニーズに応じた情報提供の仕方を検討する必要がある。</p>

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その4)

旭川美術館

【基本的運営方針】 D 活動の基礎となる調査・研究の推進

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
調査・研究の充実度	学芸員による調査報告	/	/	/	b	<ul style="list-style-type: none"> 旭川美術館だより「氷華」の発刊を通じ、「木の造形」や「道北の美術」について調査・研究を継続して行い発信している。 作家資料や図書資料等は継続的に収集・整理し充実を図っているが、地元作家の個展開催及び図録作成を5年以上実施していない。学芸員によるテキスト・論文の執筆二次資料について、データ化を進める必要がある。
	二次資料の状況	/	/	/		

【基本的運営方針】 Dの評価

評価	コメント（評価の考え方）
B	調査研究や資料収集の成果を展覧会の展示構成や解説等に反映させるとともに、展示内容の充実が図られている。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その5)

旭川美術館

【基本的運営方針】 E 地域文化の振興

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
地域の関係機関との連携状況	ボランティア団体等の主体的な事業の参加者数	実施なし			b	<ul style="list-style-type: none"> ・道立旭川美術館ボランティア「常磐会」と、付帯施設の運営や広報活動など、様々な形で連携し、美術館活動の充実を図っている。 ・旭川美術振興会、旭川市民実行委員会、北海道新聞旭川支社と、展覧会の開催はもとより、教育普及活動や広報活動など様々な形で連携した取組を行っている。
	ボランティアが活動しやすい場の提供					
	地域と連携した取組の状況					
学校との連携の状況	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	2校	1校	50.0%	c	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスパートナーシップについては、北海道教育大学旭川校が参加をやめたことで、メンバー校数が減となったもの。 ・指導者研修については4回計画したものの、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響で3回しか実施できなかった。 ・出張アート教室は、比較的小規模の学校で実施したため、参加者数が指標値に達しなかった。
	出張アート教室の延べ参加者数	90人	26人	28.9%		
	指導者研修の延べ参加者数	50人	32人	64.0%		
	学校教育活動への対応数	16件	28	175.0%		
	参加者・利用者満足度					

【基本的運営方針】 Eの評価

評価	コメント（評価の考え方）
B	<p>新型コロナウイルスの影響等で参加者数が目標に達しなかったが、ボランティア団体をはじめ、地域の関係機関との連携をより深めることで美術館活動の充実を図ることが出来た。</p> <p>今後も引き続き、開催方法の工夫など、コロナ禍においても実施可能な事業の形態を検討する。</p>

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その6)

旭川美術館

【基本的運営方針】 F 良好な滞在環境の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
附帯施設の充実度	レストラン・喫茶利用者の満足度	70.0%	69.1%	98.7%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度について、喫茶は概ね目標を達成し、ミュージアムショップは指標値を越えている。 ・喫茶及びミュージアムショップを運営しているボランティア団体と日頃から積極的にコミュニケーションをとるようにしたり、アンケートの意見等を情報共有するなど、連携を密にしながらサービスの向上に努めている。
	ミュージアムショップ利用者満足度	70.0%	79.0%	112.9%		
	事業者と協力してのサービス向上の実践					
館のホスピタリティ	館内スタッフの対応に関する利用者の満足度	90.0%	90.7%	100.8%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・館内スタッフの対応に関する利用者の満足度は、目標を達成している。ホスピタリティの向上に向け、アンケートにおける改善意見等について、職員間で情報共有するほか、来館者に対して丁寧で素早い対応に努めている。
	ホスピタリティ向上に向けた取組み					
施設環境の保持	施設内外の環境への満足度	90.0%	95.6%	106.2%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の環境への満足度については、目標を達成している。また、日常点検や職員による巡回を行うことにより、施設の安全性保持に努めている。 ・施設の老朽化により突発的な不具合等が複数回発生しているが、展覧会に支障を来さないよう必要な修繕を行っている。
	施設安全性保持のための必要な措置					

【基本的運営方針】 Fの評価

評価	コメント（評価の考え方）
B	全般的に目標を達成しており、良好な施設環境を来館者に提供出来ている。今後とも新型コロナウイルスの感染状況に応じた感染防止対策を講じるとともに、より満足度の高い美術館運営ができるよう、継続的に改善策を検討していく。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標（計画）を達成している	b	B
目標（計画）をほぼ達成している	c	C
目標（計画）を達成できていない（努力が必要）	d	D
方法に再検討が必要	e	E